



県下の輸出百億円をこえる

花形は電気機械部品

＝昭和33年度本県の輸出産業＝

- ・はしがき
- ・輸出金額
- ・輸出先
- ・内需と輸出との関係
- ・輸出の三つの振興策
- ・茨城県輸出品生産業者協同組合
- ・貿易の自由化と本県産業への影響
- ・貿易統計に対する要望
- ・国の貿易について

はしがき

本県の輸出産業については、県の商政観光課が主となってその振興を図っているが、このほど同課の調査による昭和33年度の実態が明らかにされた。

これによると同年度の輸出は、前年、及び前々年に比べて驚異的な躍進を示して、百億円の大台を突破したがこれは日立製作所を始めとする大企業の輸出がいちじるしく伸びたためで、他面中小企業の行つた輸出もかなりの増加を示してはいるが、県下総輸出額に占める割合は依然1割程度の僅少な額に過ぎない。

昨年末から始まつた自由化の嵐は、とりあえず貿易の面に大きな影響を及ぼしてくることが予想されるが、我が国の輸出産業が、大企業かさもなければ零細企業という特色を示しているの、自由な国際競争裡におかれた場合、零細企業は果して経営の維持ができるかどうか、また大企業においても、各国を相手に如何にして競争に打勝つかといった問題が次々出てくることと思う。

それでも昭和34年度は輸出総額150億円うち中小企業の輸出は17億円程度が見込まれており、岩戸景気を反映した好況の数字が予想されている。

なおこの調査は大企業9工場、中小企業9組合45工場を対象とし、未回答は14工場であつた。

輸出金額

昭和33年の県下の総輸出金額は137億円に達し、31年の36億円、32年の87億円にくらべそれぞれ375%、157%と大きな躍進を見せている。ただこの137億円のうち大企業の行つた輸出が123億円とその90%を占め、この割合は31年が81.1%、32年が90.1%であつたから、本県の輸出産業においては大企業の占める役割が大きいことを示している。

しかし中小企業の輸出も、その輸出の絶対額から眺めた場合、昭和31年度6億9千万円、32年8億7千万円、33年13億6千万円と年々増加の一途をたどつており、県の輸出振興策と相まつて今後も相当の伸展が期待されることと思う。

次にこの137億円の業種別構成比を眺めてみると、電気機械及び部品が、全体の85.7%でトップを占め、第2位以下は大きく下つて、籾詰及び水産加工品の3.5%、電線の2.7%、繊維製品の2.5%、精密機械の2.4%の順となつている。

32年度に比較した業種別の伸びを見てみよう。最も増加したのが籾詰及び水産加工品の489%、精密機械の280%、電気機械及び部品の173%、工具類149%、繊維製品148%でその他の業種は全部減少している。最も減少の

いちじるしい業種はビーズハンドバック 光学レンズ (0%)、その他の雑貨製品 (0.09%) などである。

昭和33年度輸出金額の業種別構成比
および昭和32年度対比

業 種 別	構 成 比		32年度対比
	%	%	
電気機械及び部品	85.7	173	
工 具 類	0.1	149	
精 密 機 械	2.4	280	
一 般 機 械	0.1	51	
電 線	2.7	58	
金 属 製 品	—	—	
光 学 レ ン ズ	—	0	
造 花	0.3	93	
玩 具 類	0.1	52	
玩 具 花 火	0.2	51	
ビーズハンドバック	—	0	
その他の雑貨製品	0.1	9	
陶 器	0.005	43	
注 射 筒	0.1	62	
セメント及びセメント製品	—	—	
織 維 製 品	2.5	148	
生 糸	2.0	56	
農 産 物	0.1	39	
罐詰及び水産加工品	3.5	489	
カ ナ リ ヤ	0.1	…	
計	100.0	157	

輸 出 先

生産品の輸出先については、各業種にわたってアメリカが多く、カナダもまた多い。業種別でいえば、電気機械部品、一般機械、電線などは東南アジア向けが多く、造花の9割、玩具の7割、水産物加工品の8割はアメリカに積出されている。又カナリヤ、農産物はすべてアメリカに向け輸出されている。

生糸はアメリカの外、フランス、イタリア、イギリスへ、雑貨は香港、アメリカへ、花火はアメリカ、ヨーロ

ッパ各国 (西独、スウェーデン、イギリス) 及び東南アジアに輸出しされる。

内需と輸出との関係 (大企業と中小企業にあらわれた相違)

各企業における全生産と輸出との割合を昭和33年度の統計から見ると、大企業では全生産金額のうちで輸出にふりむけているのは最高25%、最低3.5%で、平均9%である。中小企業では最高100%、最低10%で、平均は45%となつている。

中小企業が大企業に比して、生産額の50%近くを輸出にふりむけていることは一概に良い悪いは断定できない。しかし、製品によつてやむを得ないことではあるが生産額の100%近くを輸出にふりむけていると、国際状況の変化や相手国市場の動向により輸出が一時的にとまった場合、その製品を内需用に転換出来ないものは危険の度合いが多いといわざるを得ないから、望ましいのは国内7、輸出3、が半々程度であろう。

輸出の三つの振興策

現在県の行っている輸出振興策としては、次の三つがあげられる。

まず第1に、常陽、関東両行及び茨城商工信用組合に対して3,200万円の指定預託を行い (昭和34年度は2,300万円)、茨城県輸出品生産業者協同組合に加入している企業を対象として、運転資金として1企業300万円以内日歩2銭3厘、6カ月以内で貸付を行っている。

その2は、中小企業輸出試作補助金を設け、輸出品の試作に対し、その所要経費の2分の1以内の補助を行っている。(但し最高5万円以内)

その3としては国際見本市 (東京と大阪で交互に開催する) や、中小企業輸出振興展 (開催地東京と神戸) などの各種見本市に努めて参加するようにしている。たとえば昨春東京で開かれた国際見本市には、本県から36業者が参加した。

市郡別組合員数 昭和35年3月15日

茨城県輸出品生産業者協同組合

昭和33年1月に、県内中小企業輸出メーカーが集まって協同組合をつくり、輸出振興と企業の発展のため団結した。発足当時は31名であつたが、その後加入が増え、現在43名となつている。

輸出産業で組合に加入しない者のなかには、規模が小さくて加入する程でもないという向と、自己資金が豊富で加入の必要がないとする者があるが、県も今後は輸出協組を中心母体として各種の助成指導策を講ずることを考えているようである。

市郡別	組合員数	市郡別	組合員数
水戸市	6	那珂湊市	1
日立市	2	笠間市	5
土浦市	4	東茨城郡 (小川町)	1
古河市	2	那珂郡 (那珂町)	1
石岡市	3	西茨城郡 (岩間町、友部町)	2
水海道市	1	久慈郡 (大子町)	1
下館市	3	鹿嶋郡 (波島崎町)	4
下妻市	4	筑波郡 (谷田部町)	1
結城市	1	計	43
竜ヶ崎市	1		

貿易の自由化は本県産業にどのような影響を与えるか

今年の日本の経済界にとつて、一番大きな課題は自由化の問題であろう。自由化に対する政府の具体的な施策が定まつていないために、自由化という言葉は、重役連に恐怖心を呼び起こしていると新聞は報じている。

一口に自由化といつても、何もかも自由になるわけではなく、金がたまつたから、ちよつとハワイで遊んでこようという所までは程遠いと思うが、昨年11月第1次の輸入制限の大巾緩和から、本年に入つて1月11日の第3次輸入制限と、自由化への門戸は着々と開かれている。

「自由化よりも、国内経済の自主体制の確立の方が先だ」という河野発言などがあつて、自民党の党内争いにもからんで来た自由化であるが、国際状況が自由化にふみぎらざるを得ないところまで来ているとあれば、この影響は今後、各方面にわたつて表われてくる事が予想される。

さて、それではとりあえず貿易の自由化によつて、本県の産業にどのような影響があらわれるだろうか。

その前に貿易の自由化について、簡単に説明すると、自由化のうちで、いわゆる貿易の自由化、つまり輸出、輸入の自由化とは、第2次大戦後各国の産業が崩潰して

外貨の保有もなくなつた所から、自国の産業の保護育成と外貨保有量の確保のために、特定品目について極度に高い関税をかけたたり、外貨の割当制などをして輸入制限を行つていたのを漸次緩和または解除して、国際間に自由な商品の流通を図ろうということである。従来、特定品目について、いちいち輸入申請をし、許可をもらつてからやつと輸入するとか、輸入したくとも外貨の枠のため、輸入できない等の不自由から解放されることになる。

このように貿易の自由化が進めば、各国のすぐれた製品が自由に手に入るし、また外国からの安い原材料や、高性能の工作機械の輸入により、国内の製品がコストダウンされ、安い製品が出回るようになる。その反面、それらすぐれた製品や、安い原材料に押しまくられ、販売不振から経営不能の危機にさらされる企業も出てくるというわけである。

本県の場合の例をあげよう。

銅で名高い日立鉱山は、銅の国内価格が国際価格に比して高いため相当の影響が考えられるが、反対に日立電線はコストダウンが考えられるから貿易自由化を歓迎するだろう。又高萩のパルプ産業も、原材料の面から影響は複雑であろう。

大型トランスなどの容量機器や電力計算器、オートメーション機器さらに重電機なども高価格のようなので安心は出来ないだろうし、工作機械、産業機械、土木建設機械などにとっては問題外といつてよいほどの状況であるから、この業種には中小企業が特に多い関係から影響は深刻であろう。

繊維業種についていえば、明年4月から原綿原毛の輸入が自由化されるので、生産過剰が予想されるし、それともなう化繊、合繊との販売競争から、製品の値下りも考えられる。

結城の皮革業界も輸入原皮の仕入時期が問題になる。

次に農産物についてみると、まず第一に大豆が国際価格より、3、4割高いので農家では大豆を作るものなくなるだろうし、安い輸入大豆が使用できるとなると、製油、正油、味噌、納豆、とうふ業界はコストダウンが期待できよう。又下館の菓子業界も油、砂糖の面から同様のことがいえる。

最後に石炭の輸入自由化についてみよう。今度の自由化では、3つの大きな課題が未解決のまま残されているが、※1.高金利の問題 2.資本充実のための税制改革の問題 3.燃料の問題 その1つに燃料の問題がある。石油とからんだ石炭は、それでなくとも問題の多い産業だけに、炭坑の多い本県ではことに重大だといえるわけである。

貿易統計に対する要望

統計資料を利用する側から、貿易統計に対する要望がある雑誌にのっていたので紹介しておこう。これは久留米大の逸見教授が「公刊統計資料の利用限界と問題点」について書かれた一節であるが、今までの各県の生産品輸出統計では、輸出品目が仕向国別に整理されていないから、市場開拓の意味からも、そうした統計資料の整備が望ましいというのである。

それと共に、輸出が業者から直接なされたものか、それとも貿易商社を仲介したものか、業者直接とすればその際の仕出港はどこか、また県外の集荷機関を通して輸

出したものはその経由地や、輸出港はどこか、といった国内市場の構造を知り得る項目を、35年から追加して調査することを希望している。

貿易統計を調査する際、調査対象は一般に調査を毛嫌いする傾向にあるという。それはこの統計が、見返りとしての恩恵を業者にあたえないからというのが理由のようであるが、そうかといつて統計の重要さに変りはないのであからる、よりよい貿易統計のために業者各位の一段の協力が望ましい。

国の貿易について

昭和33年度の国の貿易は、外国為替収支の受取27億2千8百万ドル、支払24億8千8百万ドルで、受取超過2億4千万ドルとなつている。これは26年度以降受取額の最も大きい年度である。

輸出を州別貿易構成で見ると、アジア向けが37%、北米が30%、アフリカ14%、ヨーロッパ12%、南米4%、大洋州3%となつている。

輸出の商品別（大分類）貿易構成を見ると、原料別製品46.8%、機械類、運搬用機器類21.8%、雑製品13.9%、食料8.0%、薬品類4.8%が主なものとなつている。

主要商品の輸出を見ると、船舶332百万ドル、綿織物277百万ドル、鉄鋼250百万ドル、魚介類171百万ドル、スフ織物127百万ドル、ミシン43百万ドルなどである。



昭和33年度輸出工場生産金額・輸出金額

業 種 別	年 間 生産金額 A	輸出金額 B	生産額に對 する輸出額 の割合 B/A	工場数	大企業の 輸出金額	輸 出 先
電気機械及び部品	千円 67,576,168	千円 11,709,948	% 17.3	大6小2	千円 11,665,314	インド, フィリピン, タイ, 台湾, 韓国, 沖繩, ベトナム, インドネシア, ギリシヤ, シリヤ, ブラジル
工 具 類	141,917	15,995	11.2	小 3	—	タイ, 中近東, ビルマ, 台湾, ギリシヤ
精 密 機 械	516,741	324,841	62.8	小 5	—	米国, カナダ, 西ヨーロッパ, ギリシヤ, シンガポール
一 般 機 械	15,020	12,653	84.2	小 1	—	香港, タイ, ビルマ, カンボジア, シンガポール, フィリピン, 台湾, 中共, パキスタン, ベイルート
電 線	10,488,641	374,528	3.5	大 1	374,528	インド, タイ, イラン, ビルマ, 沖繩, 台湾, インドネシア
金 属 製 品	—	—	—	—	—	—
光 学 レ ン ズ	—	—	—	—	—	—
造 花	36,230	36,230	100.0	小 1	—	米国(90%)オーストラリヤ(10%)
玩 具 類	29,838	16,870	56.5	小 3	—	{米国(70%)カナダ, オーストラリヤ(ごく一部)}
玩 具 花 火	58,090	31,340	54.9	小 5	—	{米国, ヨーロッパ各国(西独, スエーデン, イギリス(東南アジア
ビーズハンドバッグ	—	—	—	—	—	—
その他の雑貨製品	203,880	16,565	8.1	小 9	—	米国, 香港, 南米(ごく一部)
陶 器	1,450	695	47.9	小 5	—	米国, カナダ
注 射 筒	24,717	14,477	58.5	小 3	—	米国, カナダ, ベネゼラ
セメント及びセメント製品	—	—	—	—	—	—
織 維 製 品	402,024	338,964	84.1	小 6	—	米国, カナダ, 東南アジア
生 糸	1,209,705	268,476	22.1	大 2	268,476	米国, フランス, イタリア, イギリス
農 産 物	20,085	9,169	45.6	組合 3	—	米国
罐詰及び水産加工品	486,985	483,789	99.3	小 2	—	{米国(80%) カナダ(20%) 沖繩(一部)}
カ ナ リ ヤ	17,231	14,881	86.3	小 6	—	米国
計	81,228,722	13,669,421	17.0	—	—	—